

〈新入会員歓迎号〉

# たまの新風 11号

平成22年4月20日発行

平成21年7月～12月までに入会された方をご紹介します。

社団法人中小企業診断協会東京支部

三多摩支会



〈目次〉

- 新入会員を迎えて・・・・・・・・・・・・・・・・支会長 松浦 徹也・・・1.
  
- フレッシュ診断士「私の抱負」
  - 1. 「自己紹介」・・・・・・・・・・・・・・・・田中 均・・・2.
  - 2. 「日本を元気にできる中小企業診断士を目指して」・・・・・・・・溝口 和也・・・3.
  - 3. 「自己紹介と中小企業診断士としての抱負」・・・・・・・・大竹 寿哉・・・4.
  
- 編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・広報部 瀬尾 千鶴子・・・5.

## 新入会員の皆様 三多摩支会へようこそ！

支会長 松浦徹也

三多摩支会は東京都の23区及び島嶼部を除く26市3町1村を担当地域として  
います。このエリアには大学や企業の研究機関が集積し、郊外型商業施設も多く、  
工業出荷額も多く近代化された地域ですが、農業もあり、自然も残っています。

三多摩地域の特徴を「グラフィック東京の産業と雇用就業 2009」（東京都産業  
労働局）では次のようにまとめています。

製造業については、事業所数では大田区が最も多く、東京の事業所の8割以上  
が区部に集積しています。一方、出荷額では日野市、府中市、八王子市などの多  
摩地域が都内全体の5割以上を占めており、輸送用機械器具、情報通信機械器具、  
電子部品・デバイス等の付加価値額の高い事業所が立地しています。

東京の農林水産業は、大消費地であるメリットを活かし、多摩地域を中心にバラエティ豊かな特産品  
を生産しています。都内では、こまつな、ほうれんそうなどの野菜、日本なしやぶどうなどの果樹が生  
産され、直売やもぎ取りも行われています。また、東京では、TOKYO X（豚）をはじめとして、おいし  
い東京ブランドの農畜産物や水産物の生産が行われています(1)。

今年2月に、中小企業の経営・技術支援、農林水産業の支援、更には職業能力開発・人材育成を支援  
する施設が結集する多摩地域の新たな産業支援拠点の「産業サポートスクエア・TAMA」が昭島市に  
設立されました。

このように、三多摩地域が産業活性化の拠点になっており、多様な地域でもあり支会の活躍の場、会  
員のビジネス機会が多くあります。

国の新たな成長戦略である雇用、環境、子ども、科学技術、アジア等に重点を置いた政策、また、本  
年4月から東京都環境確保条例により地球温暖化ガス（CO2）の削減義務、地域イノベーションパート  
ナーシップ（RIPs）に代表される地域全体として、生産性向上・成長を牽引する産業基盤の整備を図る  
取組みも強化されてきています。

私たち三多摩支会会員は、このような新たな変化への対応や地域の新たな要望に答えられなくてはな  
りません。

三多摩支会の会員数は415名で、構成は独立診断士、企業内診断士、年齢も多様であり、支会活動へ  
の期待もまた様々です。かつてケネディ大統領の就任式で「わが同胞の世界の市民よ、アメリカがあな  
たのために何をしてくれるかではなく、われわれと共に人類の自由のために何ができるかを問おうでは  
ないか。」と演説しました(2)。

支会は新入会員の皆様も含めて、会員が主役です。全会員が多摩研、研究会、忘年会、理事会、部会  
などの支会、支部の事業や活動の一つでも二つでも参画していただけることが目標です。支会あるいは  
支部の何処かに「自分の居場所」があるのが重要と思っております。

皆様が「三多摩支会の会員でよかった！」と思えるように、一緒に地域や支会で「何ができるかを問  
い」そして「自分の居場所」作りをしましょう。

支会の諸事業で皆様とお会いできますことを楽しみにしています。

(1)<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/monthly/sangyo/graphic/2009nen/index.htm>



(2) <http://www.ne.jp/asahi/barber/tokyo/J.F.html>

## 自己紹介

氏名 田中 均

e-mail : offshore@dance.ocn.ne.jp

### 1. 三多摩支会への入会動機

診断士に登録して3年経ちます。

登録しただけで、診断士としては、まったく何もしていなかったのですが、サラリーマンをリタイヤする年齢に達したので一念発起して、突然活動を始めました。

住んでいる町田市を拠点にしたいと考え手始めに、町田商工会議所に入りました。

となると、それまで属していた（一度も顔を出した事がなかったのですが）城南支会ではまずかろうと考え、三多摩支会に移らせてもらいました。

また、どこの研究会にも属していなかったので、多摩法務研究会にも参加させて貰いました。実は、法務は苦手なのですが、研究会に入れば、嫌でも勉強する機会が増えるだろう、というのが入会した理由です。

入ってみると、（当たり前ながら）法務に長けたメンバーばかりで、議論に加わるのになかなか苦勞するのですが、少人数で、アットホームな雰囲気なので、幸いなことに居心地は悪くないです。

### 2. これまでの仕事の経験

大学卒業後、自動車メーカーに勤務して国内や海外の営業の仕事に就き、一時期は米国に駐在していました。

その後、輸入車業界に転じ、最終的に、日、英、独、米の4ヶ国の会社に勤務したことになりますが、それぞれのお国柄があり、興味深いものでした。

輸入車業界に移ってからは、販売店を新設したり、販売店の経営改善に取り組む仕

事が中心となったので、多くの中小企業の経営に触れる機会に恵まれました。

廃業に追い込まれた販売店も、いくつかあり、中小企業の成功の鍵は、結局、経営者につける、と強く感じていました。

外部の人間は、その経営者が持たない知識や情報を提供する事は出来ても、経営の根幹を変えることは非常に困難で、コンサルタントには、限界があるのではないか、と思ったりしています。



### 3. 現在の状況

独立した診断士なのですが、残念ながら診断士としての仕事はまだしておらず、知人の会社を手伝ったり、他に所有している資格である、ファイナンシャル・プランナーとして、投資の相談やセミナー講師を行って、日々過ごしています。

最近誘われて、企業年金のコンサルティングを行う、NPO法人にも加わったので今後は、中小企業と接触する機会が増え、診断士の役割を果たせるチャンスが巡ってくるのではないかと期待しています。

## 日本を元気に出来る中小企業診断士を目指して

氏名 溝口 和也

e-mail : yukimura7777@aol.com

### 1. ごあいさつ

はじめまして、平成21年10月に三多摩支会に登録をさせていただきました、溝口和也と申します。この度はこのような場を設けていただき誠にありがとうございます。



### 2. 略歴

生年月日：昭和56年2月16日

現住所：東京都渋谷区

出身地：兵庫県尼崎市

保有資格：1級販売士

従事職務：経理（決算と納税中心）

趣味：

- ・旅行（日本史好きが高じまして、史跡めぐりが大半です。現在45都道府県を訪問しました）
- ・読書（ビジネス&日本史関係中心）
- ・お酒（だいたいなんでも飲めます、日本酒が好きです）
- ・音楽（10年ほどピアノをしてました）
- ・野球観戦&格闘技観戦

### 3. 職務概歴

ITベンチャーの経理部にて本業の経理では年次決算までの決算業務や監査法人対応などを担当。また人事の労務管理も担当することができ、さらにIPO業務も担当し管理部門を幅広く見るという貴重な経験ができました。

しかし社長が病気で急死し、組織が空中分解したため、昨年1月に現在の大手電機メーカー系列の会社に転職しました。

#### 【連絡先】

携帯番号：080-4146-3208

携帯メール：yukimura77@i.softbank.jp

PCメール：yukimura7777@aol.com

現在は経理職として年次決算までの単体決算・連結決算取り纏め業務と法人税・地方税の申告業務を担当しております。

### 4. 中小企業診断士を目指した理由

私が小学校6年生の時に父親の実家の会社が倒産しました。その時の経験からこのような会社を支援できないかという強い想いがあり、「経営のお医者さん」と呼ばれている中小企業診断士を目指しました。

また直近でも所属していた会社の社長の急死を間近で見るなど、経営の重みを改めて実感しており、目指していた当時よりさらに想いが強くなっております。

### 5. 今後の活動

将来は独立してやっていきたいという気持ちがあります。そのためまだまだ勉強することが多いと考えています。東京支部ならびに三多摩支会の研究会などの活動に積極的に参加をして、さらなる自己研鑽を積んでいきたいと考えています。

また自分の従事している経理職を通じた会計・税務に強い診断士を目指しておりますので、専門性を強化するため税理士の学習を始めております。

## 自己紹介と中小企業診断士としての抱負

氏名 大竹 寿哉

[e-mail : ka77887@ca2.so-net.ne.jp](mailto:ka77887@ca2.so-net.ne.jp)

### 1. はじめに自己紹介です

2008年度の診断士試験に合格し、2009年9月に東京支部三多摩支会に入会いたしました、大竹 寿哉（おおたけ としや）と申します。よろしくお願ひいたします。

1961年6月に東京都世田谷区で生まれ、以降、転居することもなく、現在まで同地に暮らしております。現在は酒類メーカーに勤務している企業内診断士です。社内では15年以上にわたり商品開発を中心としたブランドマーケティング業務に携わっています。

趣味はルアーフィッシング、野球です。ルアーフィッシングはブラックバスに嵌まっています。野球は観戦するのも実際にプレーするのも大好きです。

### 2. 診断士を志望した動機

大学を卒業し、就職した時から“いつかは起業したい”との夢を抱いていましたので、経営全般に関する知識が包括的に学習できる「中小企業診断士」の資格には当時からとても興味を抱いていましたが、なかなか学習に入るきっかけが無いまま、忙しさにかまけ、いたずらに時だけが過ぎてゆきました。

その後、2005年に久々に出遭った大学時代の友人が起業をおこない、大成功をおさめたことを知り、胸にしまいこんでいた「中小企業診断士」への想いが湧き上がってきました。また、当時、規模の小さいグループ会社へ出向となったことから、中小企業経営を理解

する必然も生じたことから、一念発起し、2006年より資格取得のための学習を開始しました。



### 3. 中小企業診断士としての抱負

私の現在所属している会社は所謂大企業ですが、現在勤めている会社は従業員50名程の中小企業です。ゆえにひとりひとりの業務領域が広く、幅広い視野とネットワーク迅速な意思決定が求められます。赴任当初はそのような環境に戸惑いもありましたが、現在ではむしろそれが楽しくて仕方がなく、もう、親会社には戻りたくないと考えています。

また、実際に小規模組織に属してみて痛感したことは、“人材教育の重要性”です。

中小企業の中にも高い基本スペックを有する人材はたくさんいます。但し、適切かつ十分な教育が施されていないがために、その才能を開花させることが出来ない例が間々あります。

今後はまず企業内診断士として、習得した知識をフルに活用し、特に若手の人材育成に活かして行きたいと考えています。そしてそう遠くない将来、独立診断士として中小企業の人材育成の手助けをしたいと考えています

□ 編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・広報部 瀬尾千鶴子 seo@attglobal.net

三多摩支会は、支会長の方針により「支会員のための支会」として定めています。そのため広報部での企画も支会員のためになるようにと考えて行なっています。ですから全員に参加して欲しいのです。

幸せなことに、たまの新風 11 号には、3 名の方から貴重な原稿をいただくことができました。ご寄稿くださった方々には深く感謝いたします。

3 名の方の文章を拝見して感じることは、書いていただいたからこそ理解できるその人らしさが表現されていて、次回お目にかかるのが楽しみになり、お会いできたら、そこから話が広がって、もっと理解したいなと希望が湧いてくることです。

中小企業診断士は、読み、書き、話す機会が多いので、書くことが得意となります。実務補習の指導員をしていて驚くのは、難しい内容ながら、どなたも短時間で 10 頁を書きあげてしまう事実です。毎回、感心させられています。

書ける方は率先して書いていただけるのですが、しかしながら、知識は書けるが自分のことが分かっていられないのではないかとお見受けする方が幾分いらっしゃいます。中小企業診断士という難しい試験を合格したにもかかわらず、自信がなく、人生そのものが居心地悪いかのようにお見受けする方がいらっしゃいます。そのような方にも、このチャンスをとらえて自己紹介文をお書きになることをお勧めしたいのです。

実は、私も書くことが苦手でした。苦手なので書くのを極力避けていました。避けていると逃げる習慣が付いてしまい悪いことは人の所為にして誰からも好感をもたれなくなっていました。止むにやまれず書こうとすると膨大な時間を使って、ああでもないこうでもないと思ひに悩んで書いていたものでした。

ところが、苦勞すれば良いことがあるものです。書きあげてみると、自分の考えが整理できて心が晴れ晴れとしているのです。爽やかな気分になって自分を見たのです。書く気分が良いのだということが分かってからは、チャンスを捕まえて積極的に書くようになりました。決して上手い文章とはいえませんが、書くことで気分が良だけでなく、自分のことを理解してくださる方が多くなり、生きやすくなってきたと思います。

三多摩支会は、支会員のための支会であるとともに、支会員が作る支会であるともいえます。どこまでやれるかやってみている先輩が大勢いらっしゃいます。どなたもお分かりになっていると思いますが、中小企業診断士としてやっていくには並みの積極性ではやって行けません。しなくても良い苦勞を引き受けて、失敗してもめげない強さと、大勢の人を巻き込んでいくリーダーシップが求められます。

新入会員の皆様も、この三多摩支会を、ご自分の人生道場として、小さなチャンスを活用してくださるよう期待しています。 以上